

2018年11月5日  
JR北海道釧路支社

## 「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、本格的な冬を迎えるにあたり、踏切手前でスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型」の踏切事故を防止するため、北海道ほか主催の「冬の交通安全運動」の実施にあわせ、踏切事故の防止を図るため11月11日から「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、踏切道において、降雪・凍結等による路面状況の著しい変化に伴った自動車スリップ等によって冬型の踏切事故の多発が懸念されます。そこで、自動車の交通事故防止と踏切を通行される方への呼びかけを行います。



踏切事故防止キャンペーン啓発活動の様子

### 1 実施期間

2018年11月11日（日）から11月20日（火）までの10日間

### 2 実施内容

- ◎「冬型」の踏切事故を防止するための取り組み
  - ・踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
  - ・列車内放送での呼びかけ
  - ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
  - ・関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問しての呼びかけ
  - ・ラジオCMの放送

### 3 実施計画

- ・帯広地区 西帯広駅構内 A団地踏切 11月14日 11:00～
- ・釧路地区 釧路駅構内 木工場踏切 11月13日 10:30～

#### <平成30年度の踏切事故>

2018年度10月末時点における踏切事故の発生はありません。昨年の同時期では、3件の踏切事故が発生し、うち1件は白糠駅構内で乗用車の直前横断により、貨物列車と衝撃する踏切事故が発生しております。

これから冬本番を迎える時期にあたり、踏切手前で車がスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する等の「冬型事故」の発生が懸念されます。踏切手前では、スピードダウンと早めブレーキを心掛けて通行するように呼びかけを行ってまいります。